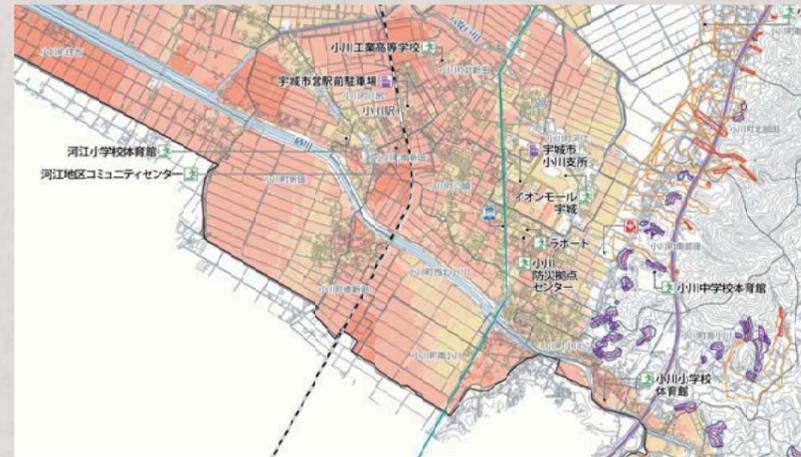


THE UKI NEWSLETTER

ハザードマップ更新 早期の確実な避難を促し、災害から命を守る



想定される被害の程度で区域を色分け 避難場所なども掲載している

最大規模の水害に備えて

線状降水帯の発生による降雨など、予想をはるかに超える豪雨から命を守るため、雨による浸水想定を「10年から100年に1回程度の大雨」から「1000年に1回程度の想定しうる最大規模の降雨」に見直しました。最大規模の水害を想定し作成しているため、浸水想定区域は従来よりも広範囲になっています。

☎ 防災消防課 32-1766

線状降水帯

強雨を降らせる積乱雲が次々と発生し、線状に延びた雨域。規模は幅20~50km、長さ50~300kmにも及び、数時間にわたりほぼ同じ場所を通過または停滞し、激しい雨を降らせる。発生予測は困難で、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨などでは甚大な被害をもたらした。

逃げ遅れゼロ 早期の確実な避難を目指す

新しいハザードマップは、河川の浸水想定区域を見直すだけでなく、土砂災害警戒区域を追加しホームページで公開。冊子は高潮浸水想定区域を更新し、本年度中に全世帯へ配布する予定です。まずは、自分が住む地域の危険性を知り、避難場所・経路を家族で話し合い、早期避難ができるようにしましょう。事前の備えが確実な避難につながります。



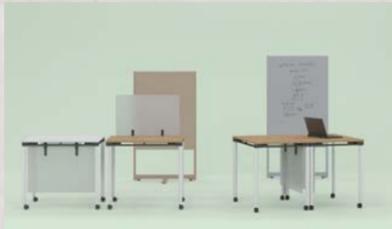
ホームページはこちら

マイタイムラインで 自分や身近な人の命を守る

マイタイムラインは、自然災害

いつも使っているものを もしもの時にも活用

新型コロナウイルスの感染拡大や多発する自然災害…。住民生活に直結する役所は、いかなる状況下でも行政機能を継続し、適切なサービスが提供できるように日頃から備えておかねばなりません。そこで市は、包括連携協定を結ぶコクヨ株式会社とフェーズフリーな空間づくりをスタート。7月中旬からテスト導入を行います。



業務内容や使う人数に合わせてレイアウトができるテーブルや空間を効率的に使う間仕切り兼ホワイトボード

フェーズフリー

「日常」「非常時」を切り離さず、「いつも」使っているものが「もしもの時」にも役立つという視点を持っています。

☎ 市長政策室 32-1803

地域の安全な暮らしと 活性化のために



八代市で行われた締結式

5月12日、県南18市町村が合同で日本郵便株式会社と包括連携協定を結びました。協定内容は郵便局のネットワークを生かした地域の見守り活動や地域経済活性化、市民サービスの利便性向上など。地域の郵便局と連携し、高齢者の見守り活動や特産品販売・PR活動を行います。

☎ 市長政策室 32-1803

見守り活動の場づくりを 応援します

市ではこれまで、熊本地震で被災し、応急仮設住宅で暮らす人々



仮設住宅で昨年開かれたサロン

☎ 社会福祉課 32-1387

みんなの意欲を向上させ 宇城市を輝かせる

5月17日に開催された宇城市総合教育会議で、「宇城市教育大綱」が改正されました。新しい教育大綱の基本理念は、

宇城市の子供・市民は 地域の宝

「笑顔とあいさつ、そして一秒の言葉で輝くまちづくり」

「一秒の言葉」とは「ありがとう」「気を付けて」「大丈夫」「ナイス」など、今の時代に必要な自己肯定感や自己有用感を構築する「言葉配り」のこと。この「一秒の言葉」を使って、子供だけでなく、市民一人ひとりの「意欲」を向上させ、宇城市を輝かせていきたいという強い思いを込めています。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ホームページはこちら

☎ 教育総務課 32-1907



ダウンロードはこちら

防災情報はここから

